

# 東山・城山

戦国時代に飛騨を平定した金森氏は、城下町を整備する際、城の東に連なる山裾に数々の寺院を建立・移築しました。今でも東山には金森氏ゆかりの寺社が並んでおり、東山遊歩道で巡ることができます。



冬の東山遊歩道



山岡鉄舟父母の墓(宗猷寺)



天照寺



東山遊歩道



加藤光正の墓(法華寺)

## 城山公園 (高山城跡)

初代飛騨高山藩主金森長近が築いた高山城は、天正18年(1590)から元禄5年(1692)までは金森家6代の居城でしたが、幕府直轄地となって元禄年間に取り壊されました。現在は石垣の一部が残し、公園として整備された城跡は市民の憩いの場となっています。市街地にも近く、自然に恵まれ、花や紅葉に彩られる遊歩道は、野鳥も多く、訪れる人を楽しませてくれます。



金森長近像(二之丸公園)



本丸跡



遊歩道



広瀬武夫像

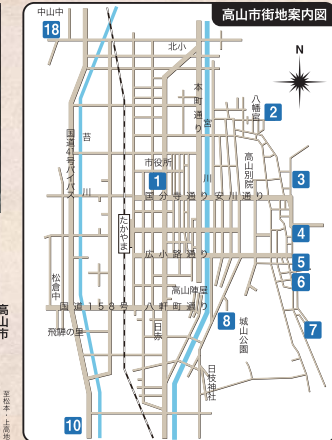
広瀬武夫(日本の海軍軍人)は少年時代を飛騨高山で過ごしました。



コバンミソバツツジ(市の花)

## 飛騨三十三観音 霊場めぐり

飛騨三十三観音霊場は、四季折々の風景と飛騨の伝統・文化に触れる一巡250kmの霊場です。千古の昔から護られてきた寺々の凛とした姿、大自然の木々の間をふきぬけるやわらかな風と歴史の薫り、いつしか、心のやすらぎを感じることでしよう。



## 飛騨三十三観音霊場

| 番号 | 寺号  | 番号 | 寺号  | 番号 | 寺号  |
|----|-----|----|-----|----|-----|
| 1  | 国分寺 | 12 | 汲月院 | 23 | 両全寺 |
| 2  | 相応院 | 13 | 寿楽寺 | 24 | 本覚寺 |
| 3  | 雲龍寺 | 14 | 慈眼寺 | 25 | 永昌寺 |
| 4  | 素玄寺 | 15 | 洞泉寺 | 26 | 洞雲寺 |
| 5  | 善応寺 | 16 | 円城寺 | 27 | 瑞岸寺 |
| 6  | 宗猷寺 | 17 | 光円寺 | 28 | 桂峯寺 |
| 7  | 清伝寺 | 18 | 恩林寺 | 29 | 禪通寺 |
| 8  | 正雲寺 | 19 | 玄昌寺 | 30 | 慈雲寺 |
| 9  | 大雄寺 | 20 | 久昌寺 | 31 | 善久寺 |
| 10 | 霊泉寺 | 21 | 金龍寺 | 32 | 正宗寺 |
| 11 | 安国寺 | 22 | 円城寺 | 33 | 千光寺 |

飛騨三十三観音霊場会事務局  
霊場会専用/TEL.FAX0577-33-0839  
ホームページ <http://hidakannon.jp>  
E-mail [hidakannon@abelia.ocn.ne.jp](mailto:hidakannon@abelia.ocn.ne.jp)



### ① 雲龍寺(うんりゅうじ)

鐘樓門(市指定文化財、日本遺産)

もとは720年に創建された妙観寺という寺院でしたが衰退し、1395年頃、曹洞宗雲龍寺として再建されました。本能寺の変で戦死した金森長近の長男長則の菩提寺であり、1590年頃、長近が建物を修営したと伝われます。雲龍寺鐘樓門は1695年、高山城破却に伴い、二之丸にあった「黄雲閣」という建物を下附され、これが鐘樓門になったと伝えられています。(雲龍寺記)



### ② 久昌寺(きゅうしょうじ)

1402年、雲龍寺の塔頭(本寺の境内にある末寺院)として建立され、1827年に寺となりました。



### ③ 栄鏡院(えいきょういん)

720年に創建され、その後衰退していた妙観寺の霊号を残すため、1450年に妙観山栄鏡院と名を改めて創立されました。



### ④ 東山白山神社(ひがしやまはくさんじんじや)

拝殿(日本遺産)

719年に創建されたと伝えられています。毎年5月5日の例祭に曳き出される神楽台(屋台)は県指定重要有形民俗文化財、八角形の神輿は、市指定有形民俗文化財です。



### ⑤ 大雄寺(だいおうじ)

山門(市指定文化財、日本遺産)、鐘堂(県指定文化財、日本遺産)

もとは吉城郡上広瀬村(現高山市国府町)にありましたが、1586年に金森長近によって現在地に移され、浄土宗の道場となりました。山門は高山地域唯一の楼門造で1791年の大風で倒壊しましたが1807年に再建されました。また、鐘堂は1689年に建てられた飛騨地方最古のものです。



### ⑥ 洞雲院(とううんいん)

1614年創立。子安地藏が祀られています。この縁起は、天明の大飢饉によって命を落とした多くの乳幼児を憐れみ、当寺の住職が供養したことに始まります。



### ⑦ 素玄寺(そげんじ)

本堂(市指定文化財、日本遺産)

1609年、初代高山城主であった金森長近の菩提寺として、金森可重(2代)が建立。長近の法号にちなんで素玄寺としました。本堂は寛永年間(1624~1644年)に炎上しましたが、1635年に高山城三ノ丸にあった評議場が移築され、本堂になったと伝えられています。



### ⑧ 東山神明神社(ひがしやましんめいじんじや)

絵馬殿、附絵馬(県指定文化財、日本遺産)

創立年代は不詳ですが、代々の国司、領主により信仰されてきました。絵馬殿は高山城内にあった月見殿という建物が、1695年の高山城破却の際に移築されたと伝えられています。



### ⑨ 天照寺(てんしょうじ)

1182年頃、天台宗の寺院、天照皇寺と称して創建。中世に一時衰廃しましたが、1615年頃に浄土宗天照寺として再建されました。寺には宿泊施設が併設されています。



### ⑩ 法華寺(ほっけじ)

本堂(県指定文化財、日本遺産)

番神堂(市指定文化財、日本遺産)  
1632年、九州から配流され、翌年この地で没した加藤光正(熊本藩主加藤清正の孫)の霊を哀れんだ金森重頼(3代)が、高山城内の建物を移して本堂としたと伝えられています。墓地内に加藤光正の墓があります。



### ⑪ 善応寺(ぜんおうじ)

1558年創建。飛騨を平定した三木氏の菩提寺でしたが、1585年、三木氏の居城である松倉城の落城とともに焼失。1626年に金森氏の手で曹洞宗の寺院として再興され、1835年に現在地へ移りました。現在の本堂は1925年に完成したものです。



### ⑫ 宗猷寺(そうゆうじ)

本堂、鐘堂(市指定文化財)

金森重頼(3代)、重勝(左京家)の兄弟が、父である金森可重の菩提を弔うため1632年に開山しました。本堂は1824年建立。高山地域唯一の臨済宗寺院の建物です。鐘堂は1716年~1736年に建立された禅宗様式です。境内に山岡鉄舟父母の墓があります。



### ⑬ 清傳寺(せいでんじ)

高野山真言宗の寺院で、765年、加賀白山山麓に創建されたと伝えられています。1920年に高山へ移転し、その後1930年に現在地へ移りました。



### ⑭ 大隆寺(だいりゅうじ)

弁天堂(市指定文化財)

1653年、金森頼直(4代)の手で創建されました。1692年、6代頼貞の国替え時、無住となりましたが、1774年、曹洞宗の般若道場として現在地に移転・再興されました。弁天堂は1801年に造営された池の中の乱石積基壇上に建つ小堂です。



### ⑮ 照蓮寺(しょうれんじ)

本堂(国指定重要文化財、日本遺産)

中門・梵鐘(県指定文化財)  
1504~1521年間の建立と伝えられる本堂は、真宗寺院現存最古といわれます。荘川村中野(現高山市荘川町)にありましたが、御母衣ダムの建設により、1958年~1960年にかけて現在地に移築されました。

